

「専門医・認定臨床生涯教育の履修項目及び単位」に基づく
2011年度 単位付与項目

理事長 里宇 明元

大項目	項 目	履修単位
(1) 学会参加の 単位	a) 本医学会学術集会（以下「年次学術集会」）*1*2 第48回日本リハビリテーション医学会学術集会（2011年千葉市）	20単位
	b) 本医学会地方学術集会（以下「地方会」）*2 ※ 随時、開催日時については学会誌・ホームページをご参照ください。	10単位
	c) 本医学会が認める国際学会（以下「国際学会」） ISPRM 2011（ブエルトリコ）	10単位
	d) 本医学会専門医学術集会（以下「専門医会」）*1 第6回リハビリテーション科専門医学術集会（2011年神戸市）	10単位
	e) 日本医学会総会 第28回日本医学会総会	10単位
	f) リハビリテーション医学に関係のある全国規模の学会学術集会（以下「関連学会」） 日本整形外科学会、日本リウマチ学会、日本神経学会、日本義肢装具学会、 日本臨床神経生理学学会、日本脊髄障害医学会、日本老年医学会、日本脳性麻痺研究会、 日本脳卒中学会、日本脳神経外科学会、日本末梢神経学会、 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会、日本高次脳機能障害学会、 日本脳性麻痺の外科研究会、日本小児神経学会、日本認知症学会、 日本心臓リハビリテーション学会 ※ 全17学会開催日時についてはホームページをご参照ください。	10単位
(2) 教育研修講 演等受講の 単位	a) 「年次学術集会」で行われる教育研修講演*3	10単位
	b) 「地方会」で行われる教育研修講演*3	10単位
	c) 本医学会が主催または後援する研修会（以下「関連研修会」）*3 病態別実践リハビリテーション医学研修会、義肢装具等適合判定医師研修会、 臨床筋電図・電気診断学入門講習会、脊損尿路管理研修会、 小児のリハビリテーション実習研修会、福祉・地域リハビリテーション実習研修会、 「動作解析と運動学実習」実習研修会、義手・義足適合判定医師研修会アドバンスト・コース 職業リハビリテーション研修会、嚥下障害実習研修会 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会医師研修会	20単位
	d) 「専門医会」で行われる教育研修講演*3	10単位
	e) 「関連学会」で行われる教育研修講演	10単位
	f) 地方で定期的に行われる研究会や学術集会での教育研修講演	10単位
	g) 地方会が認める講演	5単位
(3) 論文の単位	a) 学会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」（以下「リハ医学」）掲載の原著、 短報、症例報告、総説等の筆頭著者	30単位
	同 筆頭著者以外の著者	10単位
	b) 「リハ医学」以外のリハ関連雑誌の筆頭著者（全5誌） American Journal of Physical Medicine and Rehabilitation, Archives of Physical Medicine and Rehabilitation, Journal of Rehabilitation Medicine, Disability and Rehabilitation, Clinical Rehabilitation *4	20単位
	同 筆頭著者以外の著者	10単位
(4) 学会発表等 の単位	a) 「年次学術集会」・「国際学会」でのシンポジウム、パネルディスカッション、特別講演等の筆頭演者	15単位
	b) 「年次学術集会」・「国際学会」での一般発表（口演、ポスター）の筆頭演者	10単位
	c) 「地方会」・「専門医会」での発表筆頭演者	10単位
	d) 「年次学術集会」・「関連研修会」・「地方会」・「専門医会」・「関連学会」での教育講演、「関連 研修会」での実習担当者	15単位

(註)

*1 専門医の資格更新には、5年間に200単位の履修並びに専門医活動報告が必要となる。なお、履修に関しては(1)-a) (本医学会年次学術集会参加)及び(1)-d) (専門医会の学術集会参加)による単位を必須とする。

*2 認定臨床医の資格更新には、5年間に200単位の履修が必要となる。なお、履修に関しては(1)-a) (本医学会年次学術集会参加)あるいは(1)-b) (地方学術集会参加)による単位を必須とする。

*3 認定臨床医受験希望者に対して、認定臨床医の認定に関する内規第2条2項2号に定められる「指定的教育研修会」とは、(2)-a)～d)まで(但し、(2)-c)「関連研修会」については1回以上の受講を必須とする。)を指し、合計100単位の取得を必要とする。

*4 洋雑誌